

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 真治
幹事 兵藤 文男
会報委員長 山下 雅則

2015 ~ 2016年度 国際ロータリー K.R. ラビンドラン 会長テーマ

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2920回例会プログラム

[当年度=30回目; 当月=2週目]

2016年(平成28年) 3月14日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈副会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……………我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 副会長挨拶並びに副会長報告
8. 米山奨学生挨拶
……………ウプレティ・レサム 君
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/21) ……休 会 (法定休日)
(3/28) ……
卓話 「4月からの電力自由化について」
講師 中部電力株式会社
刈谷営業所長 後藤 直樹 様
(紹介者 神谷 強 会員)
- 13:00 14. 本日のプログラム
新入会員アワー
田中 正之 会員
後藤 直樹 会員
15. 謝 辞
16. 点 鐘……………〈副会長〉
17. 閉会宣言
- 13:30 18. 散 会

ゲ ス ト

米山奨学生 ウプレティ・レサム 君

出 席

会員総数 95名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名
欠 席 13名 出席率 84.70%
前々回 (2/29) の修正出席率 100%

副会長あいさつ

「時代を彩った美女たち」

石川 覚雄



今日は、安城市歴史博物館で企画展として開催されています「時代を彩った美女たち」を紹介したいと思います。

「時代を彩った美女たち」といいますと、世界の三大美女といわれる小野小町、楊貴妃、クレオパトラを

想像するのですが、残念ながら、そうではなく江戸時代から昭和初期にかけて描かれた日本の女性の作品展です。

江戸時代には、女性を描いた錦絵、いわゆる美人画が多数作成され、庶民の人気を集めたそうです。

明治以降は、企業が商品等を宣伝する豪華な大型ポスターや、様々な意匠を凝らした市販の絵はがきが制作され、そこにも女性の絵が多数採用されています。

こうした「描かれた女性たち」は、衣装や髪形、化粧方法などにおいて流行の最先端をいく、いわば時代を象徴する存在であったといわれています。

パンフレットから展示されている、幾つかの作品を紹介いたします。

1. 錦絵

1) 花魁道中

江戸時代後期の花魁道中の標準的な衣装、頭に末広がりで挿した沢山のカンザシは、当時の人も「仏像の後光に似たり」と茶化しています。

2) 羽根つきをする美人

江戸時代後期の歌川広重の作品、羽根付きは、女子が正月にする遊びの定番。赤や青などの色使いは非常に鮮やかな印象を受けました。

2. 絵はがき

1) リボンの少女

明治33年に私製はがきの発行が認められ、いろいろなデザインのはがきが作られたようです。髪にかざる大きなリボンは、西洋風を楽しむアイテムとして女子に人気だったそうです。

2) 看護婦

明治期、真っ先に洋装を制服に採用した職業は看護婦であったと記されています。日露戦争の時には、こうした白衣の看護婦姿の絵はがきが数多く制作されたとのこと。

3. ポスター

1) バラの髪飾りの美女

大正10年頃の日本油脂工業株式会社のポスター、何の宣伝かはよく分かりませんでした。

2) ドレスの女性

昭和9年に制作されたサッポロビールのポスター、断髪にパーマの髪型で、昭和初期には女優や進歩的な意識を持った女性、いわゆる「モダンガール」として流行したそうです。

企画展は、今月の27日(日)まで開催していますので、興味のある方は足を運んで頂ければと思います。ちなみに、入場は無料で、1時間程ご覧頂けます。



2. 1)



2. 2)



1. 1)



3. 1)



1. 2)



3. 2)

米山奨学生挨拶



ウプレティ・レサム 君

新入会員アワー



田中 正之 会員

皆さまこんにちは。昨年8月に、アイシン精機の堀田会員のご紹介により、入会しました。株式会社東陽の田中でございます。

前任者の酒部から引き継ぐかたちで、「伝統と格式のある刈谷ロータリークラブ」の一員に加えて頂き、改めてお礼申し上げます。

さて、私は昭和32年に東京の中野区で生まれ、5歳で、父の仕事の関係で刈谷に移り、現在は刈谷市野田町に両親と妻・娘の5人で2世帯住居に住んでおります。

仕事としては、機械工具商社の株式会社 東陽に勤めており、入社直後よりアイシン精機様・アイシン高丘様をお客様に持つ部署での営業を6年ほど経験したのち、27年前にお客様の米国進出に伴い弊社米国子会社へ、5年程赴任し、帰国後は株式会社 デンソー様をお客様とする部署で生産設備の営業として20年ほど担当して参りましたが、一昨年の7月より常勤監査役の任を経て現在に至っております。

さて、ここで当社の紹介をさせて頂きたいと思います。

主に、自動車部品製造会社様の工場に必要なものを納入販売させて頂いている、機械工具専門商社でございます。私共は常にお客様の傍に居て、お客様のニーズに答えるという商売を行っております。

上記方針により、国内は7都道府県に16拠点、海外は9ヶ国に30拠点を構え、常にお客様の傍にいてお客様のニーズに答えるという方針で、商売を行っております。

刈谷ロータリークラブの会員の皆さまの半数以上の方々が当社と何らかのお取引を頂いているお会社の方々です。私どもの拠点があるところに関連するところでは、現地への生産拠点進出などの商売関連はもちろんですが、それ以外の件でも、お問い合わせございましたら、務めてお答えできればと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

ご静聴頂き誠にありがとうございました。

新入会員アワー

後藤 直樹 会員



平成27年8月、伝統と格式ある刈谷 RC に入会させて頂きました中部電力(株)刈谷営業所の後藤直樹と申します。どうぞよろしくお願い致します。常日頃皆様には、電力事業に格別なご理解ならびにご協力賜りこの

場をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、その電力事業につきましては、新聞、マスコミなどで既にご案内のことと存じますが、歴史的な変換期を迎えようとしております。2011年発生した東日本大震災で甚大な被害をもたらしました原子力発電所の事故、さらに、電力システム改革や電力全面自由化など、新しい電力事業に向かって「舵」がきられ、当社におきましても昭和26年発足以来今年で65周年を迎えますが、過去に類を見ない「最大級の大海原」で奮闘している真っ最中であります。

その中で、今、当社が取り組みしている課題についてご紹介させて頂きます。

①成長の加速に向けた取り組み

全面自由化により厳しさを増す競争を勝ち抜くため、安価で安定的な価格と高い品質を両立させ、より付加価値の高い、お客さまの想像を超えるサービスを提供すること。

②新たな時代の安定供給に向けた取り組み

再生可能エネルギー電源の急増などにより、電圧・周波数の維持を含めた安定供給が困難となることや、4年後の送配電部門の分社化などの状況下で、スマートメーター設置を契機とした情報通信技術の融合をはじめとした新技術などを活用し、新たな時代の安定供給をつくりあげること。

③浜岡の安全性をより一層高める取り組み

新規性基準を満たすことにとどまらず、「リスクを限りなくゼロに近づける」ために、設備対策や自治体と連携した緊急時対応の実効性を向上させること。

以上、当社は、いつの時代においても、暮らしに欠かせないエネルギーをお届けする事業者として、地球環境に配慮した、良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けする「変わらぬ使命の完遂」に努め、「一步先を行く総合エネルギー企業」を目指してまいります。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻を承ることができれば幸いと存じます。